

報道関係者各位

沿岸バス株式会社
ヤマト運輸株式会社
天塩町

「ひと・もの協働輸送（客貨混載）」で新たな輸送スキームを構築

首都圏翌日便を実現し、農水産品の販路拡大を支援

～沿岸バス×ヤマト運輸×天塩町の三者連携で

路線バスを活用した新たな物流プロジェクトを開始～

沿岸バス株式会社（代表取締役社長：出口治康、以下「沿岸バス」）とヤマトホールディングス傘下のヤマト運輸株式会社（代表取締役社長：長尾裕、以下「ヤマト運輸」）および北海道天塩町（町長：浅田弘隆）は、8月28日に三者による連携協定を締結しました。このたび、首都圏（※）への翌日配達を実現し、農水産品などの高付加価値化や販路拡大による地方創生、バス路線網の生産性向上などを目的として9月1日より、天塩町～豊富町間の路線バスで「ひと・もの協働輸送（客貨混載）」を開始いたします。

（※）東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県（茨城県、栃木県、群馬県、山梨県は14時以降の配達）



【締結式の様子】左からヤマト運輸キャラクター「クロネコ」、ヤマト運輸：藤崎道北主管支店長、沿岸バス：出口社長、天塩町：浅田町長、齊藤副町長、天塩町キャラクター「てしお仮面」

■都市から遠隔という弱みを解消し、天塩町の食資源の高付加価値化、販路開拓を目指す

北海道北部に位置する天塩町地域は、都市部から遠隔地にあたり、これまで宅急便を首都圏に送った場合、到着するのが翌々日でした。天塩町の主な食資源である魚介類や農産物（乳製品）、山菜などは、鮮度が重要であり、商品の高付加価値化のためにも、物流の改善による都市部など大消費地への配送時間の短縮が求められていました。そこで今回の三者連携による取り組みにより、当日（午前中）受付の宅急便を沿岸バスの路線バス（天塩町～豊富町）に混載し、航空輸送することにより、首都圏へ翌日午前中に配達することが可能になります。これにより、天塩港で当日朝に水揚げされた魚介類も、翌日午前中には、東京のレストランに食材として届けることが可能になります。

首都圏翌日便（超速宅急便）の仕組み



1. ヤマト運輸天塩センターにて荷物を「超速宅急便」として午前中に受付
2. 沿岸バスの路線バス（豊富留萌線）に混載してヤマト運輸の超速宅急便の配送ルートに接続
3. 翌日午前中から配達

■北海道 天塩町 概要

北海道の北部に位置し、国内第4位の長さの天塩川の河口に位置する。漁業と酪農が主要産業。昨年7月から国の地方創生人材支援制度で齊藤啓輔副町長が着任し、各種施策を進めている。

町長：浅田弘隆

所在地：北海道天塩郡天塩町新栄通 8 丁目 1466-113

人口／面積：3,193 人（平成 29 年 6 月末）／353.56 km²

